

## 科 目 名

# 近代建築史 History of Modern Architecture

3年 前期 2単位 選択

内 丸 恵 一

## 概 要

現代建築は、主に西ヨーロッパで起こったモダニズムの建築を基礎としながら、その模倣と変容、およびそれを乗り越えようとする試みの歴史であると言える。多様な建築の形態と思想が氾濫する現在、近代建築の歴史の変遷を理解することは、建築の設計を指向する学生にとっては、みずからの建築を考えるための必須の基盤となる。本講義は、19世紀中頃以降の近代建築の胎動期、およびその成立から成熟・変容に至る歴史の変遷を、ヨーロッパとアメリカを中心に講ずる。

## 学習目標

- ① 近代建築史の大きな流れを理解すること。
- ② 基本的に知っておかなければならない歴史的建築物について理解すること。
- ③ 錯綜する近・現代の社会と建築との関わりを歴史的に理解し、現代社会の中でのみずからの建築を考えるための基礎となること。
- ④ 講義中におこなう、いくつかの代表的な歴史的建築物の空間の意味の読みとり作業を、みずからの建築を設計するためのバックボーンとして理解すること。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
① 全体の概説	近代建築史の全体的な見取図
② 産業革命と建築技術	産業革命を背景とした社会変化と新しい建築の要請
③ 19世紀末の造形運動	アーツ・アンド・クラフツ運動、アール・ヌーボー、ウィーン分離派
④ 近代建築への胎動	ドイツ工作連盟、ガルニエとペレ、シカゴ派とフランク・ロイド・ライト
⑤ 20世紀初頭の前衛的運動	ロシア構成主義、デ・ステイル、未来派
⑥ 表現主義の建築	ドイツ表現主義、アムステルダム派、日本の表現主義
⑦ 近代建築の成立 1	ドイツ工作連盟とバウハウス
⑧ 近代建築の成立 2	ミース・ファン・デル・ローエとル・コルビュジェ
⑨ 近代建築運動の拡がり	CIAM の活動、北欧・西欧・アメリカ・日本の近代建築運動
⑩ 近代建築の成熟と変容 1	ミースとル・コルビュジェの活動
⑪ 近代建築の成熟と変容 2	フランク・ロイド・ライトとアメリカの展開
⑫ 近代建築の成熟と変容 3	ルイス・カーンの建築と思想
⑬ 近代建築への懐疑 1	地域や歴史に根ざす建築
⑭ 近代建築への懐疑 2	ポスト・モダニズム
⑮ 定期試験	

## 授業方法

配布プリントに沿って、適宜スライドやビデオを使いながら授業を行う。

## 評価方法

講義中におこなうノート提出により試験の受験資格を得るものとし、定期試験にて判定する。

## 教科書・教材

教科書：日本建築学会 編 近代建築史図集（彰国社）

教 材：配布プリント

## 参 考 書

西洋建築史入門（森田慶一、東海大学出版会）

近代建築史（石田潤一郎、中川 理、昭和堂）

西洋建築様式史（熊倉洋介他、美術出版社）

## 履修上の注意

ただ講義で教えられたことを理解するだけでなく、近代の建築や美術、芸術や歴史に興味をもって取り組んで欲しい。そうすれば、日常生活の中からもさまざまな情報や学ぶ機会が入ってくるはずである。